



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 日建工学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9767 URL <https://www.nikken-kogaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 皆川 曜児
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大門 忠志 TEL 03-3344-6811
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	5,902	△20.4	693	△26.4	743	△24.6	582	△25.4
2021年3月期第3四半期	7,414	36.0	941	—	986	—	781	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 568百万円 (△29.3%) 2021年3月期第3四半期 804百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	319.64	—
2021年3月期第3四半期	428.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	7,124	3,747	52.6
2021年3月期	7,668	3,233	42.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 3,747百万円 2021年3月期 3,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	△26.4	760	△37.9	810	△36.7	620	△38.9	339.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	1,862,254株	2021年3月期	1,862,254株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	38,708株	2021年3月期	38,507株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	1,823,648株	2021年3月期3Q	1,823,942株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想の前提条件等に関する事項につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種進行による感染症収束への期待と度重なって出現する変異株による感染症拡大のリスクを抱え、景気の回復は総じて弱い状況で推移いたしました。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移しておりますが、依然として建設業界における労務単価、建設資材価格等の動向にも注視が必要な経営環境にあります。

当社グループにおきましては、新たな受注の獲得と利益向上へ取り組み、合理化・効率化施策を継続実施することにより、引き続き堅調に推移し、災害復旧事業が急拡大した前年には及ばないものの、当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,902百万円（前年同四半期比20.4%減）、営業利益は693百万円（前年同四半期比26.4%減）を計上し、経常利益は743百万円（前年同四半期比24.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は582百万円（前年同四半期比25.4%減）となりました。

セグメント業績の概況

型枠貸与事業

前年度までの台風や集中豪雨による災害復旧工事が確実に執行された結果、当第3四半期の売上高は1,825百万円（前年同四半期比15.5%減）となり、営業利益は495百万円（前年同四半期比23.9%減）となりました。

製品販売事業

災害に対応した河川用護岸ブロック及び土木シート製品の出荷が底堅く推移した結果、売上高は4,076百万円（前年同四半期比22.4%減）となり、営業利益は197百万円（前年同四半期比32.0%減）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を従来の「資材・製品販売事業」から「製品販売事業」へ変更しております。当該変更はセグメント名称の変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,124百万円となり、前連結会計年度末比544百万円の減少となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少1,013百万円、現金及び預金の増加121百万円、投資有価証券の増加90百万円、前払費用、未収入金などによる流動資産のその他の増加125百万円及び投資その他の資産のその他の増加129百万円等によるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は3,376百万円となり、前連結会計年度末比1,058百万円の減少となりました。

その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少531百万円、未払法人税等の減少247百万円、長期借入金（1年内返済予定含む）の減少152百万円及び未払金の減少107百万円等によるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,747百万円となり、前連結会計年度末比513百万円の増加となりました。

その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加528百万円及びその他有価証券評価差額金の減少14百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、本日（2022年2月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,524,172	2,645,346
受取手形及び売掛金	3,019,464	2,006,450
電子記録債権	457,418	446,651
商品及び製品	272,844	241,310
原材料及び貯蔵品	12,978	11,148
その他	87,857	213,516
貸倒引当金	△8,761	△8,601
流動資産合計	6,365,976	5,555,823
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	231,403	204,750
その他(純額)	218,408	291,165
有形固定資産合計	449,812	495,916
無形固定資産	18,167	17,448
投資その他の資産		
投資有価証券	623,302	713,902
その他	359,554	489,116
貸倒引当金	△148,330	△148,157
投資その他の資産合計	834,525	1,054,861
固定資産合計	1,302,506	1,568,225
資産合計	7,668,482	7,124,049
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,407,875	1,876,214
短期借入金	—	37,500
1年内返済予定の長期借入金	195,983	170,853
未払金	240,048	132,290
リース債務	89,526	77,016
未払法人税等	278,502	31,400
その他	359,728	325,810
流動負債合計	3,571,665	2,651,085
固定負債		
長期借入金	467,500	340,000
リース債務	155,987	140,212
繰延税金負債	76,929	80,246
退職給付に係る負債	125,040	127,451
その他	37,811	37,811
固定負債合計	863,269	725,722
負債合計	4,434,935	3,376,808

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,427	1,004,427
資本剰余金	541,691	541,691
利益剰余金	1,612,705	2,140,897
自己株式	△65,666	△66,044
株主資本合計	3,093,158	3,620,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140,388	126,269
その他の包括利益累計額合計	140,388	126,269
非支配株主持分	—	—
純資産合計	3,233,546	3,747,241
負債純資産合計	7,668,482	7,124,049

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	7,414,893	5,902,503
売上原価	5,431,922	4,200,911
売上総利益	1,982,971	1,701,591
販売費及び一般管理費	1,041,305	1,008,423
営業利益	941,665	693,168
営業外収益		
受取利息	137	33
受取配当金	19,114	19,006
棚卸資産処分益	4,067	30,314
貸倒引当金戻入額	8,488	332
保険解約返戻金	20,232	5,028
為替差益	—	139
その他	2,468	2,363
営業外収益合計	54,509	57,218
営業外費用		
支払利息	7,079	6,041
手形売却損	1,026	—
為替差損	1,250	—
その他	677	1,203
営業外費用合計	10,034	7,244
経常利益	986,139	743,141
特別利益		
固定資産売却益	4,828	334
特別利益合計	4,828	334
特別損失		
固定資産売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	990,967	743,476
法人税等	209,643	160,572
四半期純利益	781,324	582,903
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	781,324	582,903

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	781,324	582,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,969	△14,119
その他の包括利益合計	22,969	△14,119
四半期包括利益	804,294	568,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	804,294	568,784
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

型枠貸与事業については、顧客が当社の鋼製型枠を使用して製作したブロックの個数に基づき、収益を一定の期間に渡り認識しております。

製品販売事業については、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,160,217	5,254,676	7,414,893
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,160,217	5,254,676	7,414,893
セグメント利益	651,169	290,495	941,665

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	941,665
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	941,665

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,825,781	4,076,722	5,902,503
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,825,781	4,076,722	5,902,503
セグメント利益	495,504	197,663	693,168

(注) 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を従来の「資材・製品販売事業」から「製品販売事業」へ変更しております。当該名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	693,168
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	693,168

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	製品販売事業	
一時点で移転される財	—	4,076,722	4,076,722
一定の期間にわたり移転される財	1,825,781	—	1,825,781
顧客との契約から生じる収益	1,825,781	4,076,722	5,902,503
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,825,781	4,076,722	5,902,503